

令和4年 第5回

愛西市立小中学校
適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

令和4年 第5回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

会議録

開会日時 令和4年9月21日(水) 午後1時55分
閉会日時 令和4年9月21日(水) 午後4時50分
場 所 愛西市文化会館 3階 大研修室

■出席委員

会 長	岩崎 恭典
委 員	青山 道男
委 員	高見 是久
委 員	三輪田 日出夫
委 員	伊藤 悟
委 員	諏訪 淑子
委 員	吉次 章浩
委 員	前田 健治
委 員	井上 貴晶
委 員	高橋 和希
委 員	浅井 敏幸
委 員	浅野 忠勝
委 員	下里 亘
委 員	中野 利哉
委 員	富山 美奈子
委 員	伊藤 基成

■欠席委員

副 会 長	水谷 瀧男
委 員	水谷 正照
委 員	中野 俊郎
委 員	里村 昌史

■事務局	教育長	平尾理
	教育部長	三輪進一郎
	企画政策部参事	伊藤孝一
	教育部次長	小島洋志
	学校教育課長	猪飼政和
	学校教育課主幹	吉田光男
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主事	伊藤尚記

■市長部局	企画政策部危機管理課長	大野敦弘
	市民協働部市民協働課長	丹羽久美

■傍聴者 5名

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 基本計画の提案(案)について

①中学校の適正化について

・配置、通学、学区

②佐屋小学校、立田南部小学校、立田北部小学校の老朽化対策について

③上記以外の小学校の対策について

④地区検討協議会への申し送り事項について

(2) その他

4 閉会

<p>(事務局)</p>	<p>1. 開会 開会宣言</p>
<p>(教育長)</p>	<p>2. あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回は基本計画のご提案をいただくための骨子を協議いただきます。該当する中学校は、基本計画の提案に載ることになりますのでよろしく願いいたします。また、中学校の統合に連動する小学校においては、一定の方向付けができたと思います。以前にもお話をさせていただきましたが、この基本計画を以って、今後将来すべてのことを決めるわけではありません。児童生徒数や社会情勢が大きく変わっていく中で、必要に応じて段階的にタイムリーに基本計画を作成していかなければならないと思っています。したがって、この協議会では中学校を中心にして小規模校の課題解消ができればと思いますので、ぜひ皆様方のお知恵を拝借したいと思っています。</p> <p>以前、情報提供させていただきました清林館高校に中学校ができる件ですが、9月12日に愛知県の私立学校審議会でも正式に認められました。1学年が70名とのことですので、3学年で210名となります。ちなみに津島中学校（仮）は、80名の240名となり、両校とも男女共学になります。清林館高校が1年早く中学校をスタートさせますが、翌年には津島中学校（仮）が始まり、1年間で合計150名の生徒が公立小学校から2校に進学する可能性があります。愛西市内の小中学校でもかなり大きな影響があると考え、今後の動きを注視する必要があります。</p> <p>委員の皆様方には、このような教育環境の変化を踏まえて、1年でも早く整えていきたいと思っていますので、ご尽力いただきますようお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>では、岩崎会長よりご挨拶をいただいた後、議事の進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>本日もよろしくお願いいたします。なかなか本論に入っていないのではないかと委員の方からご指摘をいただいております。必ずしもそうとは思いませんが、前回の議論も小規模校においてどのような課題があるのかを中心に議論していただきました。中学校の大枠の方針は固まっていると思います。それをベースにして今日は、基本計画の案の骨子部分を議論いただきます。ちょっとずつでも確実にまとまりつつあると思います。</p> <p>その時の中心的な考え方が、その時点で教育を受ける子どもたちのた</p>

	<p>めにどんな教育環境が必要かを考えて、複式学級は避けるべき、中学校では専科教員の確保の面から一定の規模は必要になると思います。人口の見通しが確実に見える時点でどういう風に備えていくかの基本計画を作成するのがこの場であると思います。</p> <p>本日議論していただきたいことは、基本計画の提案をまとめて、付随する小学校の方向性を示しつつ、今後地区協議会で具体的にどのような議論を深くしていただくかを決めたいと思います。例えば、地域コミュニティ、防災上の役割、通学手段等の地域の実情があると思いますので、できるだけ協議事項をピックアップして、地区協議会で議論していただくと思います。その時は、この協議会に参加している委員の皆様にも議論に参加していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、議事に入っていきますが、まずは、第3回目の議事録についての確認であります。修正等のご意見はありますか。</p>
(委員)	<p>機械不良により途中退席となりましたので、そのような表現に修正してもらいたいと思います。</p>
(事務局)	<p>修正いたします。</p>
(会長)	<p>ほかに修正等のご意見はありますか。なければ、承認とさせていただきます。</p>
(委員)	<p>《異議なし》</p>
(会長)	<p>では、第3回目の議事録は、承認とさせていただきます。</p> <p>3. 議事</p> <p>では、(1)基本計画の提案(案)について議論していきたいと思えます。前回までの協議会の決定事項を基に基本計画の提案(案)を事務局の方で作成していただきました。今日はその内容を含め、完成に近づきたいと思えます。資料1について事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>資料1について説明</p> <p>最後に委員の方より前回の会議を含め、本日の議題に関して意見をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。</p>

委員の皆様、お疲れ様です。私は、9月21日開催の第5回検討協議会は、所用のため、欠席させていただきますので、よろしく申し上げます。

さて、本協議会もいよいよ終盤に入ってきました。私自身、微力ではありますが、この適正化問題に当初から関わってきましたし、この会の副会長としての立場もあり、少しでも今の思いを述べさせていただければと思います。

先の検証委員会からは、「小規模の中学校の課題解消のために、優先的に着手が必要」との提言がありました。これに則り、「中学校を中心とした基本計画の提案」が本協議会に課せられた使命だと思っています。

しかしながら、これまで、様々な観点から議論がなされ、なかなか本論には入れていない状況ではないかと思っています。本当に課題解消のための基本計画案はできるのかという心配をしています。皆さんは、どう思ってみえるでしょうか。

この協議会は、少子化が進行するこれからの愛西市の学校の具体的な在り方を決める重要な会です。特に、統合後の中学校への通学や老朽化対策については、十分な検討協議が必要です。また、中学校の統合は学区内の小学校にも影響がありますので、小学校の適正化や老朽化対策、通学方法や校区の見直しについても、考えなければならないと思います。

学校の統廃合は、全国的な動きとなっていますが、どの地域においても住民全員が賛成する方策はなく、それぞれの歩み寄りによる結果であるように思われます。中学校の統合案について、先回までの協議会で、事務局から提案されたB案（佐屋中と立田中の統合）とC案（佐織西中と八開中の統合）について、承認が得られたと理解しております。

立田地区に住む私にとって、母校がなくなるということは寂しいし、複雑な気持ちにもなります。委員の皆様も、様々な思いをお持ちのことと思います。また、教育委員会が平成26年から手がけた適正化への進め方についても、様々なご意見があることは十分承知しているつもりです。

しかしながら、子どもたちの将来を見据えて、今こそ、学校の統廃合を進めていかなければならないと、私は考えております。本協議会では、今後に向けて、全員が知恵を出し合って基本計画案をまとめ、各地区にて検討協議していただくように準備しなければならないと思います。委員の皆様におかれましては、限られた時間ではありますが、よろしく申し上げます。

以上となっております。

<p>(会長)</p>	<p>また、他の委員からもご意見をいただいております。</p> <p>今回の第 5 回の会議資料の説明を事前に受け、立田南部小学校、立田北部小学校についてA案B案C案とありますが、老朽化の観点からそれぞれの小学校の面積を減らして改修ということも考えられますが、学校規模適正化の観点からは、現実的ではありません。立田中学校が佐屋中学校へ統合となれば、立田中学校があくわけで、立派な体育館やプールもありますのでB案の立田中学校の老朽化対策を実施して、統合した小学校を設立する案に賛同いたします。</p> <p>以上となっております。</p> <p>ありがとうございました。基本計画の提案（案）について説明していただきました。</p> <p>まずは、中学校の統合案を確定させていきたいと思います。資料 1 の佐屋中と立田中を統合し、A、B、Cに配置するとのことをご意見をいただいておりますが、まずはBの佐屋西小学校の案についてご意見いただけますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>立田北部小学校区の早尾町の地区から佐屋中学校まで通うのに前回の資料にありますとおり、約 7 kmあり、佐織西中学校に通う方が近いこととなります。他の委員の方から津島自動車学校付近との意見も聞き、用地買収等の課題が多いことが予想されるので、小規模な小学校はどんどん統合して、佐屋西小学校も佐屋小学校と統合した上で、佐屋西小学校の位置に統合中学校を建てるのが良いのではないかと思います。佐屋中学校より西に約 1.1 kmずれますので、立田北部小学校区の北の地区も 6 km前後となり、通学範囲に入ると思い提案しました。</p> <p>永和中学校の通学範囲については、国道や鉄道をまたいで通学しているので、スクールバスの検討が必要だと思います。</p> <p>ただ、佐屋中学校の位置に統合中学校を建てる場合、立田北部小学校の学区を二分する可能性について私自身は否定いたしません。プランの 1 つとして必要であると思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。通学距離が長くなるのでご提案いただいたと思います。今後統合することによって、通学方法は必ず課題となると思います。学区の再編の話も考えなければいけないと思います。例えば、佐屋中学校となった場合、通学距離が長くなるのであれば、検討をするということを追記する必要があると思います。</p>

<p>(委員)</p>	<p>では、津島自動車学校付近の意見についてはどうでしょうか。</p> <p>津島自動車学校付近に統合中学校を配置すると考えた理由ですが、まず、永和中学校が佐屋中学校と統合すると適正規模ではなく、大規模校になります。適正規模にすることをメインと考えていますので、大規模校になってしまう説明がされていないと思います。大規模校になれば、小規模校と同じでデメリットの影響が多いと考えます。また、前回までの会議の他の委員の方の発言の中で、津島市は4つの中学校があり、愛西市もそのような形が良いのではないかとのことでした。ですので、永和中学校を残すと考えた上で、津島自動車学校付近にという案を出させていただきました。</p> <p>しかし、永和中学校が令和15年に過小規模校になってしまうので、その問題も解決しないといけない。どうしたら良いかというと、中学校区の編成を変えて、永和中学校に通う対象の子どもを永和小学校の児童と市江小学校の児童を通わせることで適正規模にはなりません、事務局に試算していただいたところ令和16年度で7クラスの207名でした。ある程度適正規模に近づけると考えます。永和中学校区は名古屋にも近いということで子どもの人口は減少しないのではないかと思います。ですので、永和中は、市江小学校の子どもと一緒にすることで残していけるのではないかと思います。</p> <p>また、通学距離が重要だと考え、市江小学校の端から永和中までの距離を見ると、約5kmで6km圏内ですので、その案が良いと考えました。</p> <p>その中で津島自動車学校付近が佐屋小、佐屋西小、立田北部小、立田南部小を含めて円の中心を描いたところ、津島自動車学校付近の位置がすべての学校区で5km範囲内に収まりました。確かに佐屋の学校区の方は1kmちょっと遠く通うこととなりますが、立田北部の北の方も3kmが5km、6km以上になるのが5km圏内になりますので、全員が基準に収まると思います。適正規模が第1に大事でその次に通学距離だと考え、このような案を出させていただきました。</p> <p>スクールバスについては、まだ議論されていないので、まずは、中学校は真ん中付近で、校舎は新築と改築の違いが素人でわかりませんが、例えば、新校舎を建てれば魅力のある学校が作れると思いますし、屋内プールを作り、他の小中学校プールはなくすことによって、老朽化対策にもなる等のメリットが出てくると思います。新築することによってできることが増え、皆さんの合意が得られやすいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。佐屋西小学校案と津島自動車学校付近案につ</p>

<p>(教育長)</p>	<p>いてご説明いただきました。佐屋中学校案を含め皆さんご意見等ありますでしょうか。</p> <p>津島自動車学校付近に新築というのは、魅力的だと思いますが、本当に良い校舎を作ったら、生徒は楽しいだろうと思います。しかし、かなりの英断が必要だと思います。</p> <p>3つの案とも理があると思いました。一つ懸念があるとすれば、用地買収について私も素人でわかりませんが、かなり時間を要し、不調に終わった場合どうなるのかという心配があります。今おっしゃっていただいたことは、教育委員会としては、非常に喜ばしいご意見をいただいていると思います。ただ、過小規模校をこのまま継続しておくことはいけないと思います。もっと時間にゆとりがある20年前ぐらいから用地買収を見込んだ議論がされていればよかったですのですが、急激に少子化になる予想ができなかったですし、用地買収や建築がうまくいっても10年くらいかかるのではないかと思います。今の中学校の現状を考えると、難しいと感じております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>前回の資料で過去の愛知県、三重県、岐阜県の中学校の統合状況を調べると、伊勢市の桜浜中学校は、豊浜中学校と北浜中学校の真ん中に建てたとのことでした。用地買収もありましたので、たいへんだったそうです。しかし、こつこつ探すことによって、学校ということもあって協力を得られたとのことでした。ですので、最初から案として消すのはどうかと思います。また、立田中学校は過小規模校になりますが、令和14年度に一回小規模校に戻ります。永和中学校も令和15年度から過小規模校になります。立田中学校の保護者から見ると、一回小規模校になることを考えると待てるのではないかという意見が出るとは思いますし、ここがリミットかなと考えます。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ただ生徒数を見ると、1人の増減で過小規模校か小規模校になってしまうので、令和14年度にそのままの人数が予測されるか不安なところがあります。小規模校に一回なるリアリティーは信じない方が良くもありません。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>佐屋中学校への統合案、佐屋西小学校への統合案、津島自動車学校付近への統合案とありますが、やはり佐屋中学校への統合案が一番良いと思います。統合までの時間、総合的な生徒の通学の安全性、財政の問題</p>

	<p>の3つの観点があると思います。</p> <p>事務局案では、令和8年度までにとありますが、生徒数の推移を見ても適正な期限設定であると思います。用地買収の話もありましたが、佐屋西小学校に統合校を配置しようと思っても、中学校の敷地面積としては、少し手狭ではないかと思います。佐屋西小学校案でも用地買収の検討をしなければなりません。それが不調に終わったときにさらに時間がかかる可能性がありますし、他の候補地を探すということになると、統合自体が遅れることが十分考えられます。そういった面からやはり佐屋中学校の老朽化対策を施した上で統合していくのが一番確実であり、過小規模校あるいは、小規模校の中でも過小規模校に近い小規模校の解消につながっていくと思います。これは、従来からこの場で議論されていますとおり、子どもたちの学びや育ち、教職員の質の確保があり、できるだけ早い時期での統合をお願いします。</p> <p>通学路に関しては、佐屋中学校の位置の時には、6kmを超えるところが出てきます。佐屋西小学校案、津島自動車学校付近案は、統合すると真ん中付近となり、優れていると思いますが、しかしながら、生徒の安全を預かる身として、現状よりも多くの生徒の通学距離が長くなるというのは、総合的には安全上の懸念を感じています。より多くの生徒が学校から近い方が交通安全の面や防犯の面で総合的には安全ではないかと思います。それは遠くになる生徒を疎かにして良いというわけではなく、安全に関する懸念については、必要な対策や整備をすることによって、軽減していくことができる。また、6kmを超える場合は、校区の見直し等を検討していくべきだと思います。</p> <p>財政的な面でいけば、新しいものを作るよりも既存のものを使った方が良いと思います。また、老朽化対策を他の学校でも実施していかなければなりませんので、総合的に考えて難しいと考えます。</p> <p>以上の3点を考えて、佐屋中学校の案が良いと思います。</p>
(会長)	<p>時間の問題、通学の安全の問題、財政の問題から佐屋中学校案が良いとのことでした。</p>
(委員)	<p>私も佐屋中学校案が良いと思います。佐屋小学校、立田南部小学校で校長をやらせていただきましたが、どちらも待ったなしの状態です。老朽化対策が必要だと思います。一刻も早く進めていただきたいのですが、立田中、八開中の問題が先だと感じています。津島自動車学校付近案となると相当時間を要す印象です。佐屋西小学校案も同様ですが、佐屋西小学校の子どもを佐屋小学校へという話がありましたが、そうすると佐屋</p>

<p>(委員)</p>	<p>小学校は、800 人近い規模になってしまいます。受け入れるキャパシティもありません。佐屋西小学校を見てみますと、北館南館合わせてもそれだけを受け入れるキャパシティが改修等をして難しいと感じます。</p> <p>前回までに佐屋中、立田中の統合、八開中、佐織西中の統合と進んでまいりました。それを見直す案が出ているのですが、特に津島自動車学校付近案というのは、用地の問題、財政の問題でとても間に合わないと考えたときに、あとで小学校のことが出てきますが、校区の変更やこれから 10 年、20 年後のことを考えて子どもたちが通いやすいと地区の方で説明があると思いますが、今日は、統合案をひっくり返すような議論は時間の問題でやめた方が良くと思います。</p> <p>佐屋中学校案に賛成いたします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>やはり佐屋中学校案は、佐屋中学校に近い人たちの目線で、実際に通う子どもたちの目線からは、7 km 通わせる保護者の身になると、国の基準で 6 km とありますので、その範囲内に収まるのであれば、ある程度の犠牲は仕方ないと思います。その子たちの安全も担保されるべきだと思いますので、優先されるのは、通学距離ではないかと思います。</p> <p>立田中学校と佐屋中学校が統合することに関しては、異論はありません。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。そういった議論もありますが、時間の問題等の様々な観点を考えた上で佐屋中学校案が良いのではないかという議論だったと思います。ただ通学区域の見直しはこれからの地区の協議会で議論していただく内容だと思いますので、そちらにきちんと申し送るべきだと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>基本計画の提案（案）1 の①A、B、C というのは、この協議会である程度絞って出すべきものと考えてよろしいでしょうか。それともそういった考え方もあるということを出して、地区で検討してもらう形になるのでしょうか。</p>
<p>(会長)</p>	<p>本来であれば、こういう選択肢があると地区で議論するのは良いと思いますが、ここでは愛西市全体のことを見ながら、中学校の在り方を検討していますので、少なくとも中学校に関しては、こういった方向で行くということを決めて、しかし 6 km を超えるところに関してどうしていくかを地区の協議で議論していただくことになると思います。大枠につ</p>

<p>(委員)</p>	<p>いては、この協議会で決めたいと思います。</p> <p>A、B、Cは取りたいということですね。</p>
<p>(会長)</p>	<p>その通りです。</p> <p>今までの議論の中で、それぞれにメリットがあり、デメリットもありということで議論していただき、時間的に許せば、財政的に許せば魅力的な提案であると考えますが、基本計画の提案としては、決めていかなければなりません。</p> <p>ここは、佐屋中学校と立田中学校を統合して、佐屋中学校に配置するという事で決めさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>地区検討協議会に話を持っていく際に数案出しておいて、説明する方が理解を得られやすいと思います。一個に絞ると反対があると思いますので、ある程度の2択ぐらいはあった方が住民に理解を得られやすいと思うのですが。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>事務局として心配しているのが、この後地区ごとの検討協議会で議論していただくので、それぞれの地区で異なった選択肢となった場合の取りまとめの手法というのが難しいと判断しています。</p> <p>この協議会は、愛西市全体を俯瞰して見ていただき、検討していただいていますので、決めていただければと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>確認ですが、地区検討協議会はだれが委員となるのですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>地区検討協議会の構成は、本検討協議会の委員の中から有識者、保護者代表、公募委員の方で各地区から3名または4名の方に地区検討協議会の委員のお願いをしたいと思います。また、各地区の将来を担うお子様を預かっている幼稚園、保育園の園長先生、地域の代表である総代、小中学校の学校評議員の方にお願ひし、構成したいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>だからこそ、ある程度固まった案が必要となってくると思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>今、思い思いの意見がある中で、地区で説明してほしいといわれると確かに難しいと思います。</p>

(事務局)	<p>地区で説明、質疑等に回答するのは、事務局で行います。本協議会で決定したことを一緒になって議論していきたいと思います。</p>
(委員)	<p>進行等も事務局ですか。</p>
(事務局)	<p>司会や進行は、皆さんにお願いしたいと思います。資料の説明等は事務局で行います。</p>
(委員)	<p>今話を聞いて、地区で説明すると合理的で論理的に適正規模を説明できない中で、多数の人がこっちにいるから、佐屋中学校になり、6 km以上になるよということを保護者代表としても苦しいので、できれば選択肢があった方が良くと思います。</p>
(委員)	<p>地区検討協議会ですが、各地区というのはどういう単位でしょうか。</p>
(事務局)	<p>各地区というのは、旧町村地区の4地区で行いたいと思います。</p>
(委員)	<p>わかりました。各地区でも問題点を議論するわけですね。 今問題となっているのが、通学距離の問題ですが、基本計画の提案(案)の中に※印で6 kmを超える生徒の通学方法を検討するとあります。やむを得ないことですが、どうしても統合する場合には、避けて通れないし理解していただかなければなりません。ですので、体力低下の防止を考えながら、6 kmを超えるときには、スクールバスを導入していく等で住民の皆様にご理解をいただいで進めていくしかないと思います。まとめて書くのではなく、すべてに記入しておくのが良いと思います。</p>
(委員)	<p>通学距離に関して、私も自分の子どもが通うのを考えると遠くなるのは不安ですが、中学校を統合することで立田南部小と立田北部小が自動的に佐屋中学校に来ることになります。しかし立田北部小学校区の佐織西中学校に近い子どもたちは、そちらに行くとかの分ける方法も視野に入れて考えることはできないでしょうか。</p>
(会長)	<p>地区で検討する際には、そういった議論もあり得ると思います。 なぜ、合併したのかというと旧町村の枠を超えて学区設定ができるのが最大のメリットだと思います。それをもう一度考え直す良い機会かもしれません。地区検討協議会でも自分の地区のことだけを考えるのではなく、その地区の子どもたちの安全性のために学区を超えて通学できる</p>

	<p>ということを議論できるようにしておかないといけないと思います。旧町村で協議会を開く場合には、そういったデメリットも把握しておかなければいけません。</p>
(委員)	<p>全体のロードマップでこの協議会がどうなって、その先がどうなるのかをなるべく早めに示していただけるとスムーズな進行につながったと思います。</p> <p>今日のこのメンバーの大半が地区検討協議会に行くのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>各地区3名から4名です。</p>
(委員)	<p>ようやくわかったわけですが、わかっていればスムーズに進行できたと思います。</p> <p>それから今議論がありました件について以前B案、C案で決定となり、今の議論に至っているのですが、それぞれの案のメリット、デメリットがまとまってないと思います。例えば、佐屋中と立田中を統合するときA、B、Cと候補を出していただきました。これもそれぞれにメリット、デメリットがあると思います。今日この場で一本化してAとすると、この協議会が一致してその案にまとまったと思われるので、そのようなことはしてはいけないと思います。全員一致になったものは、1案に絞れば良いと思います。異論があるのであれば並列で残しておくべきです。賛否を取っていただきたいと思いますし、議事録にメリット、デメリットを協議したことを残すべきだと思います。それをすると地区検討協議会でいろいろな質問が出たときに答えられると思います。それがないと最初から議論をやり直さないといけなくなると思います。いかにして地元の合意を得るかとなりますので、この段階で議論したことの資料を残しながらまとめていかないと、最後の現場で行きづまってしまうと思います。八開地区の以前の説明会で資料だけで説明されて、質問すると答えられない状態でした。それぞれの課題について通学路にどういう危険があるのか等が揉んでなかったので、答えられなくなってしまいますので、それを心配しています。ですので、今まで議論してきた内容や資料は基本計画の提案（案）の報告書として添付していただきたいと思います。</p> <p>何度も言いますが、この協議会でメリット、デメリットがどちらも出て、この案になりましたということを示すべきだと思いますし、異論があったものは残すべきだと思います。</p>

<p>(委員)</p>	<p>中学校の統合の件ですが、今までの協議会の中で決定したものと思います。いろいろ議論されていないと委員は言われていますが、昨年度の委員会等でも議論されてきました。今日は統合の配置で佐屋中学校案、佐屋西小学校案、津島自動車学校付近案を初めて協議しているのですが、先程までいろいろ議論していただいていると思います。</p> <p>私もこの3つの中で選ぶのであれば、あきらかだと思えます。立田中学校へ統合するのは、距離的に不自然ですし、あきらかに佐屋中学校案か佐屋西小学校案か津島自動車学校付近案だと思えます。それで今の議論の中で津島自動車学校付近案はないのかなとなっているところだと思えます。</p> <p>八開中学校と佐織西中学校を統合するということも八開中学校へ統合するというのは距離的におかしな話だと思えます。まずこの2つについては、統合するのは決まりでどちらに統合しに行くかは距離的にあきらかな話だと思えます。</p> <p>事務局から過小規模校だから佐屋中学校へ統合、佐織西中学校へ統合という話でしたが、どちらに統合するかの理由については、距離的な理由ということで説明するべきだと思えます。</p> <p>立田中学校区の北の方は、佐織西中学校へ編入するのを認めていくというような話がこれまでの会議でも出ていたと思えます。それで進めていけると思えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>議論を残すということについては、ここでしっかり議論している内容が議事録で残されていますのでそれで十分だと思います。それからありとあらゆる意見が出てくるのでここですべて議論するのは不可能だと思います。その上で、ここで議論を重ねた結果、多くの方が佐屋中学校案でアグリーするだろうと思えます。生徒の数×通学距離を考えたら安全上でも合理的なのは佐屋中学校案だと思えます。立田北部小学校が問題となる点に関しては、選択肢を出しておくのが重要だと思えます。学区を分けるのか、スクールバスを出すのか。それから学区を分ける場合には、小学校にも影響がありますので視野に入れる必要があると思えます。ここでは、佐屋中学校案でアグリーとして良いと思えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>地区の方からご意見をいただいていますので、お伝えしようと思えます。保護者の方が何人か見えて、いろいろなことを心配されていました。5年前の件があり、いきなり新聞発表があったことで知り、家の子たちが小学校に入るころにはそうなっていると思ったとのこと。地区の説明会があったとしても、私たちの意見をまったく聞き入れてもらえなか</p>

ったと言っていました。中学校の統合の話ですが、小学校の話もいつの間にかやってしまうのではないかと心配していました。協議会の方に私たちの意見を伝えてほしいとのことだったので、読ませていただきますと、中学校の統合について協議会で合意されつつあるが、あくまで愛西市が住民に説明するまでの統合案の一つであること、地区検討協議会や地域の説明会で否決された場合、再度検討できるようにしてほしい。それから合意形成についてパブリックコメントのご意見もありました。意見が取り入れられなかったのではないかと不安が不満にすごくなっていると感じました。パブリックコメントもこの協議会で委員の皆さんに理解してほしいとおっしゃっていました。それからアンケートを取ってほしいということと、地区代表の方の意見も大事にしてほしいとおっしゃっていました。協議会が2ヶ月しかない中で議論が不足しているのではないかと感じているということです。小規模のメリットを確認すべきだという意見が地域の中にはあるということを思いました。中学校の統合案の検討が不十分ではないかということ。子どもたちの通学路の安全性、学区編成、スクールバス、避難所はどうか等を心配されていました。

その時、私が感じたことは5年前のトラウマがあるのではないかと思います。情報も一部しか伝わっていないので、協議会でいろいろ検討していることも検討していないと捉えられているのではないかと思います。ですので、地区への説明は、非常に丁寧にしなければなりませんし、意見を聞き入れることも大事だと思います。

少人数が良いという意見がある一方で幼稚園に関わっているので、小さなお子さんを持ってみえるお母さんたちからは、小さな学校だとそこで馴染めなかったら、ずっとそうになってしまうのではないかということや長い田舎道を歩かせていくのが心配という声もあり、早くスクールバスになってほしいという意見もあります。賛成、反対の意見がある中で一つのことに向かって進んでいくのは、非常に難しいし、皆さんの意見を取り入れるのは大変なことだと感じています。

その時に思ったのが、アンケートを取るのも大事だなと思いました。今の小学校や中学校の子どもが思っていることはもちろんのこと、実施できるのが数年後なので小さい年齢の方たちと考えが違うと思うので、低学年の小さいお子さんたちからアンケートを取るというのも良いと思います。

幼稚園を経営していて、この数字を見たときにどうしようかと思いました。幼稚園の経営も成り立たなくなると思います。幼稚園から認定子ども園に移行することも考えてはいるのですが、20年幼稚園に携わらせ

<p>(会長)</p>	<p>ていただいておりますが、こんなに減るとは思っていませんでした。</p> <p>地区の方々から説明できることやご意見をいただきながらも、この少子化の中で統合することはやむを得ないと思います。人数が半分になったからといって、経費が半分になるわけではありません。例えば、プールも 25m だったけど、人数が半分になったから、半分で良いという話ではありませんので、経営する立場からしても、どう統合していくか、どう住民に説明していくかというのを考えるが大事なかなと思います。</p> <p>ありがとうございます。進め方の話で言えば、第 1 回の会議で基本計画の提案（案）を基に教育委員会で基本計画の策定に入って、地区説明会を行う、その後基本計画の策定になるわけです。ですので、今は意見集約の最中でありまして。ただこの協議会で求められている役割は、基本計画の案として少なくとも、中学校については、今後地区検討協議会でいろいろ議論があると思いますが、そのたたき台として、こうしなければ愛西市の義務教育の機会が保障されないという話で作りこむ必要があると思います。</p> <p>そういう意味でいうと、津島自動車学校付近案等はすごく魅力的だけれども時間的、財政的に許さないだろうということで、今ある佐屋中学校のある場所に統合していく形で進めていく。しかし、通学方法は、多様化するというのを地区の方で議論していただきたいと申し送る形でまとめていくのが必要だと思います。</p> <p>委員のおっしゃっていましたが複数の選択肢を残すと、逆に地区で検討する際にどっちが良いという議論になって、愛西市としても行政の説明責任を負えないと思います。どっちが良いかというのを地域の住民に決めさせるというのは、地域住民に対する責任転嫁だと思います。こうせざるを得ないので、この方向性のためにどういった修正をしていけば良いのかを地区の住民の皆さんに議論していただくことが、ここで議論している意味だろうと思います。中学校の大きな方針については、ここで確定させていただく必要があると思います。</p> <p>資料 1 の基本計画の提案（案）1. ①の佐屋西小学校案や津島自動車学校付近案についていろいろ議論していただき、それぞれのメリット、デメリットも議事録に書くことになると思います。</p> <p>それを受け、佐屋中学校と立田中学校を統合し、佐屋中学校に配置するというところでよろしいでしょうか</p>
<p>(委員)</p>	<p>ここで多数決を取るようなものではないと思います。10 年後、20 年後の子どもの教育環境のためにやっているのです。地区の説明会のために</p>

	<p>やっているわけではありません。旧町村地区での説明の際は、反対の方が多くくると思います。そこで多数決を取るわけでもありません。その時に今社会がこうなっているから、この協議会で佐屋中学校と立田中学校等の先行きを考えて統合します。だから承知していただきたいと伝えなければならない。皆さんの孫や子どもがやがてどういう教育環境になるか、それについて私たちは話し合いをしました。事務局は、反対が出てきたときにそれを上回るような会長がおっしゃったことをきちんと出していただいて、大変だと思いますが説得していただきたいと思います。</p> <p>佐屋中学校や佐織西中学校以外にする案もありましたが、というような提示をするのも良いかなと思います</p>
(委員)	<p>今のような形で良いと思います。唐突に結論を出すと反発が出ますので、その時の回答や手持ち資料としてこれだけの議論がなされたということを持っておく必要があると言っております。</p> <p>こうせざるを得ないというのは、科学的根拠を持っていなければなりません。その議論した資料を持っていなければならないという意味です。たくさんの資料を提示する必要はないと思います。</p> <p>地元の皆さんが不安に思っていますので、以前は、パブリックコメントはやったのでしょうか。住民に周知する方法として、良い方法だと思います。ですので、この基本計画の提案（案）もパブリックコメントをしていただきたいと思います。この協議会の責任の区切りが付かないと思います。このまま地区検討協議会へ流してしまうとどの段階でどういう風にまとまったかわからなくなってしまうので、住民にも周知が行き渡りにくいと思います。</p> <p>ぜひとも、基本計画の提案（案）がまとまった時点でパブリックコメントをしておくべきだと思います。</p>
(会長)	<p>パブリックコメントの件についてですが、再びスケジュールの説明になりますでしょうか。</p>
(事務局)	<p>パブリックコメントの実施については、基本計画が策定されるときには実施いたしますが、今回の基本計画の提案（案）の段階でパブリックコメントを実施いたしません。</p> <p>ただ、パブリックコメントは、必要なものだと考えています。</p>
(会長)	<p>行政手続き上必要なことだと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>では、議事に戻り、まずは、佐屋中学校と立田中学校を統合し、佐屋</p>

<p>(委員)</p>	<p>中学校に配置するという案でよろしいでしょうか</p> <p>《異議なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは次に、八開中学校と佐織西中学校の統合についてですが、佐織西中学校案と八開中学校案がありますが、委員の皆様ご意見をいただけますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>地元に住むものとしては、どちらかを選べと言われれば、八開の人は自分の子が近い学校へ行った方が良いので、八開中学校だと思います。</p> <p>他にもいろいろ案を考えたのですが、この八開中学校案、佐織西中学校案のどちらにも同意していません。いつの間にかそうなっていますが、どちらにも賛成していません。ただこの協議会としては、まとまりつつあるのかなと思います。私は、どの時点でも同意を求められていないと思っています。流れの中で最善を探っていくしかないと思っています。</p> <p>八開中学校の過小規模校を解決するからという理由、キャパシティ、武道場もあるからと理由だと聞きましたが、一番は、子どもの安全性だと思います。実際どういうルートを通っていくのか。佐織西中学校案とするなら、八開中学校の子どもにどのような危険が考えられるのか。先日の台風のようなことがあったとき、どのような予想がされるのかという細かい分析をして提示する必要があると思います。</p> <p>私は、安全性を考えると人数だけではないと思います。八開の方が少ないから佐織西中に行くということではなく、どのルートを通ると佐織西中の子どもが安全に八開に通学できるか、どのルートを通ると八開の子どもが佐織西中に通学できるかを両方考える必要があると思います。人口が増えれば増えるほど交通量が増えるしいろんな危険が出てくると思うので本当の安全性を考えると少ない方に来るのが安全かだと思います。車の多くないところを通った方が安全だと思います。</p> <p>住民説明会に行くかもしれないと聞いたので、説明する立場になるかもしれないと思ったときに基本計画の提案（案）がパブリックコメントを基に作られたものであれば、私は最初から少人数が悪いと思っていないので、パブリックコメントでも少人数をメリットと考えるべきとあったので、基本計画の中には、八開中、佐織西中を統合するというのも、少人数をメリットとして新しい教育を考えていくという選択肢もありだと思います。住民の声も基本計画の提案に入れたということになると思っています。それを入れなかったということは、パブリックコメントを切り</p>

	<p>捨てている、全部無視して基本計画が出来上がっていると考えられます。なくなってしまう中学校区の住民の声を無視した形になると思います。説明する側に回ったときにわかってくださいと到底言えません。私自身が納得してないですし、永和中学校も過小規模校となるまでにとありますが、過小規模校になると住民には写るので、例外を作るのは良くないと思います。過小規模校になるとわかっていたら同じように並べて検討する必要があると思います。なので、八開中、佐織西中を統合するとしたら安全性を考えて八開中だと思います。どの危険性も分析されていないので、人口が少ない方に来る方が交通事故の危険も減ると思います。</p>
(委員)	<p>交通量が多いところから出ていかななくてはならないということもリスクを感じるのですが。</p>
	<p>八開の中で通うなら良いとは思いますが、市街地から多くの生徒が出ていくのはいかがでしょうかと思います。</p>
(委員)	<p>お互いだと思います。危険性に関しては、実際に歩いたりして確認しなければいけないと思います。</p>
(会長)	<p>地区検討協議会では、当然しなければいけないことだと思います。</p>
(委員)	<p>過小規模校のメリット、デメリットについては、検証委員会でもやりましたし、小学校については、小規模校のメリットの影響が大きいと認められているわけです。だから中学校を優先となったのですが、それをまた覆すと進めなくなります。</p>
	<p>それから、自分の地区の母校がなくなることは大人にとってもつらいことですが、子どもたちにとってはどうだろうと思います。母校がなくなるわけではなく、新しい学校が母校となります。大人の感情で母校を残したいだけではなくて、今の子どもたちのこれからを考えて進めてきたことだと思います。ですので、これを元に戻してというのは、今までやってきたこの会議が無駄になりますのでお願いいたします。</p>
(委員)	<p>地元の間人だから残したいというわけではなく、例えば、私の子どもは、佐織西中とくつつくかもしれないと伝えたら、ぜひとも佐織西中に行きたいと言っていました。規模も大きいし、クラブチームと一緒にスポーツをやっている子も多いので、佐織西中に行きたいし、部活の選択も増えるので、ただ、私は全部残しても良いじゃないかと最初から思っています。パブリックコメントも少人数というのがこれだけあったので、</p>

<p>(委員)</p>	<p>何もしないという選択肢を残したいと思っています。この方向性で決まっていくというのは分かっているのですが、議事録に少しでも残してもらいたいなということで発言しました。</p> <p>平成 27 年 1 月 27 日に文部科学省が出した手引きがあります。その中に何が書いてあるかという小規模校のメリットが書いてあります。大規模校になったら、そのメリットを生かした教育をしましょうというのもあるし、前回も申し上げたとおり、指導要領も新しく変わっています。先々のことを考えてこの会議を開いていると思います。私の通っていた小学校は、もうありません。寂しいと思いますが、今の子どもたちの生き生きと新しい学校に通っているのを見ると、しょうがないなと思います。</p> <p>佐織西中や八開中に行きましようとなったときの通学路について、どうするのが一番良いのかは、附帯事項としてこれから検討されるべき事項だと思います。例えば、地域のボランティア等は、これからの検討課題だと思います。</p> <p>本分は、子どもの教育環境です。それを忘れないでいただきたいと思っています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>事務局から施設の話がありましたが、八開中に統合するとなると施設面で教室数が足りなくなることはあきらかです。すなわち増設をしていくことになると思います。財政的な問題と時間的な問題が予想されます。しかし、佐織西中学校であれば、統合後 1 学年 4 クラスですので、今の環境でも受け入れ可能ですので、スムーズだと思います。</p> <p>通学については、どちらに行っても、メリット、デメリットがあると思いますので、検証しなければいけません。今すべて洗い出して比較検討することはできません。</p> <p>施設面と財政面で行くと佐織西中学校案が良いと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>私も佐織西中学校案の統合が良いと思います。キャパシティの話もありましたし、小学校はあとのことでしたが、中学校の跡地を考えるとそこに小学校の統合校をと考えると、八開中が佐織西中へと考えます。また、人の流れが 300 人近い子どもが八開中へ向かっていきますので、新しい危険を生むと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>統合するということは、今まで議論されてきました。今のままで良いとの意見もありましたが、愛西市は変わらないといけないと思います。</p>

	<p>実際に動きだすので、愛西市の改革の起爆剤になると思いますし、そう なってほしいという気持ちもあります。愛西市はこのままではいけない と思いますし、将来、愛西市も危ないのではないかと考えています。そ のために学校の統合をして、何とかしていこうという気持ちは出してい きたいと思います。</p>
(委員)	<p>愛西市で北部に 1 校の中学校とするという前提がありますので、佐織 中学校も統合するとなると、佐織西中学校案しかないと思います。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。基本計画の提案（案）1. ②の部分に関して、 メリット、デメリットを委員の方々に議論いただきました。 それを含めやはり、八開中学校と佐織西中学校を統合し、佐織西中学 校に配置するという形で決めさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
(委員)	<p>《異議なし》</p>
(会長)	<p>では、③の永和中学校についてはいかがでしょうか。先程、過小規模 校になるまでに、ということで意見をいただき、一律に考えた方が良い とのことでしたが、すべて一緒に統合するというのは難しいものがある と思いますし、令和 10 年度までに検討を開始するとあります。ですので、 過小規模校になるまでに佐屋・立田統合校へ追加で統合するという案に ついて、委員の皆様よろしいでしょうか。</p>
(委員)	<p>時期的なものですが、愛知県の県立高校の中高一貫校が津島高校の次 に年にさらに 4 校増えるというのをニュースで聞いて、実際にどれだけ 愛西市の子どもたちが中高一貫校に進むのかという推移を見ると 5 年前 までを目途にというと令和 10 年度までに検討開始とありますが、早まる のではないかと思います。</p>
(委員)	<p>永和中学校は、今のデータだけを見れば大規模校になってしまうとい うことで適正規模にならないのですし、大規模校のメリットも話し合わ れていないので、永和中学校を統合するという表記はいかがなものかと 思います。残す案も、もう少し議論が必要だと思います。</p>
(事務局)	<p>確かに委員のおっしゃるとおり、③について追統合のみの表現のため、 過小規模校の見込まれる 5 年前までを目途に検討する際は、他に手法が あると思いますので、それがわかるように表現させていただきます。</p>

<p>(会長)</p>	<p>県立高校の中高一貫校が始まれば、永和地区は鉄道があり、他の地区に行きやすいと思いますので、その影響は大きいかもしれません。それを見極めた上で過小規模校となるまでには、追統合する方向性でよろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>《異議なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。 では、④の佐織中学校についてであります。佐織中学校、あるいは八開・佐織西統合中学校のどちらかが過小規模校となるまでには統合することですが、こちらも5年前を目途に統合の検討開始とありますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>「5年前を目途に」とありますが、「5年前までを目途に」と修正させていただきます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>中学校の意見がまとまりつつあると思いますが、私自身、検証委員会の時から中学校の統合が遅れているので、中学校の教育環境としては良くないと思っています。一刻も早くと申し上げてきていますので、ぜひとも統合案が進んでいくためにも地元の合意が得られないと進みません。 心配するのが①の佐屋中学校と立田中学校が統合しというのが出たときに佐屋中学校の方が立田から人が来るのかと嫌な思いをされる人がもしかしたらいるかもしれないし、反対に立田の人が佐屋まで行かされるという風に思われる人がいると思いますので、こういう考え方のもと、進めてきたことを早い段階から順番に積み上げて情報提供していかないと、前回の二の舞になってしまいますので、基本計画の提案（案）が出来たら、パブリックコメントをするべきだと思います。そうしないと将来の調整が大変だと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>周知の方法についての提案なのですが、まずは基本計画の提案の書き方でもう少し背景があっても良いのかなと思います。本当に子どもたちのためにというのを最初にあっても良いのかなと思います。 立田、八開地区の合併のときにいきなり情報がでたことから、ネガティブキャンペーンのような形でこんなことを勝手にやろうとしているのが先行してしまったので、意見を積み上げてきたことに関しては、</p>

<p>(事務局)</p>	<p>愛西市の広報や回覧板で丁寧にこんな問題がありますと、残していくためには、このような課題があり、クリアするのは非現実的ですよというような私たちがここで積み上げてきた論理を漫画付きとは言いませんが、親しみのある形で夢のある未来が見える形で発信できれば良いのかなと思います。ネガティブキャンペーンがどうも回覧板で回っているみたいなので。</p> <p>ご意見ありがとうございます。委員がおっしゃられる手法の事務的なものではありませんが、広報に載せようと思うと時間がかかるので、全戸配布のチラシというような形であれば、比較的短時間で準備してお知らせすることは可能かと思います。直近で言えば、10月広報は難しいですが、11月広報の配布時期に合わせた回覧、全戸配布等の資料がお出しできるとお知らせとしては良いのかなと思います。可能な限り事業を進めたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>何らかの形でお知らせしていただけたらと思います。</p> <p>いかがでしょうか。中学校の再編についてはこのような形で決めさせていただきます。時間を少し超えてしまいますが、全体についてご意見をいただければと思います。</p> <p>本日の意見を受けて、基本計画の提案（案）についてまず、前書きがあり、子どもたちの教育環境が変わってきているということ、人口統計も見やすいように出して、こんなに子どもの数が少なくなるということを示して、それで、中学校と小学校が成立するのかという問題意識を打ち出した基本計画を作っていく必要があると思います。</p> <p>そこに行くには、少し小学校の議論もしたいと思いますので、お時間をいただければと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>パブリックコメントを何回もやってほしいのですが、一つ言い忘れたのが、愛西市のパブリックコメントのことが市のホームページに掲載されていますが、意見を出したら、市の考え方を回答するとなっていますので、教育委員会が今回パブリックコメントをやっていますが、自分の課が担当していないものは、門前払いというようなやり方ですので、パブリックコメントの考え方が間違っているのではないのでしょうか。それだけ言いたかったです。</p>
<p>(会長)</p>	<p>コミュニティと防災の関係部局にもずっときていただいていますので、何らかの形でパブリックコメントをやったときには、回答を出して</p>

	<p>いただけると幸いです。</p> <p>それでは、基本計画の提案（案）の2. について老朽化対策検討委員会で「区分Ⅰ」と判定された小学校に対策を講じるとのことですが、2 ページであります。先程の中学校の議論で佐屋中学校と立田中学校を統合し、佐屋中学校へ配置すると決めたわけですが、それに伴い、立田中学校が空くわけ。跡地利用の観点から立田南部小学校と立田北部小学校の統合案が浮上してくるのではないかと思います。そうすると2. ①のB案というのが現実味を帯びてくるのではないのでしょうか。</p> <p>委員の皆様いかがでしょうか。</p>
(委員)	<p>中学校の跡地を利用して、小学校をまとめ、人数を多くするというのはわかるのですが、通学距離が元々立田は南北に広いので、小学校1年生の子がさらに歩くとなるとかなりきついと思います。立田北部小学校区の場合、C案の草平小学校へもかなり遠いと思います。十分に検討されていない中では、現実的にA案のそれぞれの校舎の面積を減らして、老朽化対策を実施するというのが一番無難ではないかと思います。</p>
(会長)	<p>事務局としては、A案のリアリティーについていかがでしょうか。</p>
(事務局)	<p>案のところでは、記載させていただいておりますが、現実的に言えば、将来の児童数を考えたときにどこまで現在の場所で学校が維持できるか課題になってくると思います。</p>
(会長)	<p>第1回目の会議でも将来の子どもの数について検討いただいておりますが、それぞれの学校が存続するののかというのは否定的な見方をせざるを得ないと思います。なおかつ、老朽化しているという点も考えるとB案が一番現実的なのかなという判断になると思います。ただ、通学方法については、小学校でありますので、より通学距離は短くなることを言うと、通学路の安全性の確保、距離・時間を確認、スクールバスの検討も出てくると思います。その議論をしていかないといけないと思います。</p>
(委員)	<p>子どもの規模もありますが、校舎の面積を減らしてというのは、非現実的かなと思います。</p> <p>立田南部小学校に勤めておりましたが、遠い子は、森川町の方からだと小学校まで、家からだと今でも4 kmを超える、中学校までだと6 kmを超えると思います。現在は、スクールバスが導入されていたかと思いますが、それを継続させれば、ほとんどの子が対処できると思います。一</p>

<p>(委員)</p>	<p>部の子に対してスクールバス等の方法で対処していけば良いと思いますので、B案が良いと思います。</p> <p>立田南部小学校の方は、元々スクールバスの話がありましたので、なんとなくかなと思います。立田北部小学校に関しては、今その話はないと思いますし、初めての話ですので、ここでいきなりB案をとというのは、時期尚早なのかなと思います。十分検討されていない中で、それを案とするのは強引かなと思います。</p> <p>面積を減らしてということで、他の学校も7学級、8学級とあります。開治小学校だけは、複式学級の可能性があります。他の学校と同じ検討をしていくという方が保護者の方の理解が得られやすいかなと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>そうすると、別途立田中学校の跡地をどうするか議論が必要となりますね。</p>
<p>(委員)</p>	<p>現状、立田南部小学校の森川の地区の南の方はスクールバスなしで徒歩50分かけて歩いていると森川の方から聞いています。</p> <p>自分の子は、立田北部小の中でも一番南部から通っていますが、徒歩で30分から40分かけています。どこに配置しても大変な子がいるという観点から、中間で取ると立田中学校になるのですが、中学校の統合の話で、もし立田北部小学校の学区を分けることに着手することになれば、中間地点は、立田南部小学校になるのではないのでしょうか。</p> <p>ですので、学区をどうするかという議論と一緒に統合するのであれば統合小学校の場所を決めていくべきだと思います。</p> <p>私は立田、八開の小学校は統合すべきだと思います。先生たちの様子を見ていても、とても過酷です。先生たちが過酷だとどうしても影響が教育の現場に出てしまうと思います。</p> <p>C案の佐屋西小学校は、歴史的な背景からも多くの反発を生みますのでこの選択肢は消した方が良いでしょう。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>立田北部小学校の北の部分南川並、枝郷、葛木のあたりは、佐屋中学校まで遠い地区になりますので、スクールバス等の手法を導入しないといけないと思います。実は南川並の地域は、今でも草平小学校に通学している子どもがおります。就学校の変更で教育委員会の内規に、最寄りの学校までの距離が本来通うべき学校までの距離の2分の1という条件がありますが、その内規を見直すのか。地区で線を引き、完全に学</p>

	<p>校区を分けるのか、または、希望で草平小、佐織西中、立田北部小、立田中に行ったりする希望選択制をするのか。それぞれにメリット、デメリットがあると思います。</p> <p>例えば、希望選択制の場合、近い学校へ行けることがメリットですが、デメリットとして地域への帰属意識が薄れるデータもあります。そのあたりの検討は、とても大切なことですので、地区の検討協議会で協議しなければいけないと思います。この場で議論するのは難しいことと思います。もっと資料等を集めてということになると思います。</p>
(委員)	<p>私も南川並に住んでいますが、隣の家の子は、草平小学校に通っています。当然、立田の祭りには、出席しません。そうした地域とのつながりはもう薄れていると感じています。</p> <p>ですので、地区の大きな問題となってきますので、ここで結論を出すのは良くないと思います。</p>
(会長)	<p>地域の帰属意識が変化していくデメリットがあるということ。しかし、通学距離は短くなるというメリットがあるということ。それらを含めて、統合小学校を作る場合は、通学区域を見直すというのを地区の協議会でもう一回議論してくださいという申し送り方をすることになると思います。</p>
(教育長)	<p>それぞれ地域の特殊な事情となりますので、この協議会で決めるのは難しいと思います。今の話は、立田が抱える大きな問題だと思います。これこそ地域の方に意見を聞きながら進めていくべきだと思います。基本計画には、はっきりとさせず、こういった問題があると明記しておくべきだと思います。</p>
(会長)	<p>ですので、B案の統合小学校の話があつて、それに対して、遠すぎるであるとかの議論を地域でまとめていってもらった方が良いと思います。</p>
(委員)	<p>逆にA案としておいて、通学距離が長いのを考慮して、B案の統合小学校にしましょうという風にした方が保護者の方からの理解が得られやすいと思います。</p>
(会長)	<p>A案の老朽化対策を実施しても、学校の規模の余裕がなくなってくる時期の方が早いのではないかというデータに関してどうお考えでしょう</p>

<p>(委員)</p>	<p>か。</p> <p>すでに八輪小学校、開治小学校が小規模校になっており、今も子どもが生活しています。小学校は、地域とのつながりが強いというのがあります。やはり、複式学級というのが限界なのかなと思います。そこまでは、地域の拠点として残した方が良いという意見の保護者が多いと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>この田舎から小学校を奪ってしまうのは、地域にとっては大きいと思います。子どもが通う小学校がないと、おそらく人が入ってこないと思います。私の家の廻りにも田舎ゆえに1軒1軒が大きく、お年寄りが一人で住んでいて、その家がなくなったところに3軒、4軒建っています。そこが学校に近いと子連れの家族が入ってくるので、小学校がなければ、たとえ既存宅地であっても、人が来ない状態になると思います。なので、ギリギリまでは小学校を持たせた方が良くと思います。</p> <p>この協議会で中学校まで決めようと思っていたので、小学校までやると思いませんでした。小学校は、簡単には決められないと思います。</p> <p>また、開治小学校は複式学級にならないと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>それはなぜでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>引っ越してくる人がちょこちょこあります。あと少しで複式学級にならないじゃないですか。あと少ししのげれば良いという問題でもないとは思いますが、令和12年にはならないと私は思います。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>適正化の根幹にかかわる部分なので、述べさせていただきます。</p> <p>小学校も中学校も言えることですが、確かに私も、地域から学校がなくなった経験がありますので寂しくなると思います。しかし、以前も述べておりますとおり、一番は子どもたちの学びや育ちを考えると、やはり一定の人数は必要です。どこの教育委員会でもそうだと思いますが、あまりにも少ない人数を良いことだとすることはできません。ただ、地域の皆さんにも合意を得て進めなければなりません。</p> <p>例えば、開治小学校の児童数が2028年には、1年生が男子8名、女子1名であります。2年生が男子0名、女子3名ということです。この状態で仮に複式学級が回避されたとしても、6年間このままで良いのかという疑問が確実にあると思います。皆さんご承知のとおり複式学級は避けなければいけない一つのラインだと思います。中学校の話で進みましたが、</p>

<p>(委員)</p>	<p>適正規模の根幹にかかわる、あまりにも少ない学校については、地域の方と話をしていかなければならないと思います。</p> <p>誤解を招いてはいけません、あえて言わせていただくと、地域やコミュニティのために子どもの育ちを阻害することはあってはならないと思っています。厳しい言い方をしましたが、やはり申し上げておかなければならないと思いました。</p> <p>教育長の言われることは、ごもつともだと思います。やはり少なすぎるのは良くないと思います。しかし、残り少ない時間の中で小学校まで結論付けるのは良くないと思います。</p> <p>今日、八開地区の通学路を廻ってきましたが、ガードレールがしっかりあって、子どもの安全はしっかり守られていると思いました。これが中学校の場所に集まったときに、もう一度安全性を見直さなければいけないですし、小学生なので、必要以上に気を付けなければいけないので、人数だけでこの場で統合という風に決めるのは早いと思います。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>おっしゃるとおりだと思います。今議題に上がっているのは、佐屋中学校と立田中学校等を統合するという、八開中学校と佐織西中学校を統合すること、また、老朽化の面で立田北部小学校、立田南部小学校をどうしていくかということがあって、急いで解決していかなければならないと思います。開治小学校、八輪小学校は、ゆくゆくは避けて通れないと思います。いずれにしても、この場で検討していただくのは、老朽化の面で待たなしの立田南部小学校と立田北部小学校をどうするのかということ。開治小学校についても、すぐということではなく、基本計画の提案(案)にも書かれていますとおり、「複式学級が見込まれる5年前までを目途に、統合の検討を開始する。」とさせていただいております。②についても同様にと考えて提案させていただいております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>小学校については、もう少し意見が出たあとが良いと思います。中学生よりも小さなお子さんの通学距離等を考えなければなりません。ただ、5年というスパンを見たときに、小学生は6年しかない中で、私たちにとっての5年と子どもたちにとっての5年は違うと思います。また、小学校が専科教員となった場合に、教員が昔のようにたくさんいるわけではないので、より良い教育にしようとする、児童が多くて教員も適した人数がいるという状態が子どもたちには良いし、それを早く取り組むことでたくさんのお子さんに良い教育を受けさせてあげられると思います。</p>

<p>(会長)</p>	<p>小学校を残しておきたいという気持ちもわかりますが、子どもたちのためには、なるべく早くやってあげた方が良くと思います。</p> <p>基本計画の提案（案）の 2 ページから 3 ページにかけての話ですが、老朽化対策の視点から手を付けなければいけないのではないかということでした。中学校の統合が決まったので、その跡地をどうするのかということも含めて、選択肢を増やしていけると思います。せめて 2 ページと 3 ページに関しては、一定の方向性を決めたいと思っているのですが。</p>
<p>(委員)</p>	<p>壊れるという意味での老朽化対策ではなく、設備等が古くなっているの、やらなければなりません。</p> <p>愛西市の財政的に 2 校を改修できるのか、小学校をすべて改修できるのか。愛西市がつぶれてしまうのではないかと考えてしまいます。どうしても予算がある中でやっぺいこうと思うと、どこかに集中してやらなければならないと思います。</p> <p>選択肢としては、B 案なのかなと思いますが、議論としてどこへ配置するかに関しては、距離の面、通学距離の面、安全面を含め考えていかなければなりません。</p>
<p>(委員)</p>	<p>小学校について、3 ページの 3-1. 「全学年 1 学級となっている小学校は」という書き出しですが、私の通っていた学校は、60 年前から元々 1 学級ですので、違和感があります。</p> <p>今回の協議会の最大の目指すところは、中学校の統合を早く行うことにありますので、中学校を中心に基本計画を出していく。小学校は、2 ページ以降に資料として付いていても現状がこうであることは間違いないので、付いていても良いと思います。</p> <p>ただ、削除してほしいのが、3 ページの 3-1. ①の「5 年前までを目途に」というところと、「令和 7 年度までに検討を」というところの数字だけは、削除してほしいと思います。なぜかということ、前回の計画を作成したときも、こんなはずではなかったということで、10 年も経たないうちに数字が変わってしまいました。10 年先のことは読めませんので、何年先までにとというのは、想像で言っていますので、そうならなかったときに責任は取れませんので、複式学級にならなかつたら誰が責任を取るというのはできませんので、年数は取った方が良くと思います。現状を住民の人たちに情報を出していく形にした方が良くと思います。特に開治小学校は、老朽化上は問題ありませんので、立田とは条件が違うと思います。</p>

<p>(委員)</p>	<p>以上のことから、中学校を中心に、小学校は参考資料を付けて私が言ったところの年数を削除していただき、パブリックコメントをすれば、うまく地元調整ができると思います。</p> <p>2. そのものを統合ありきとするのは良くないと思います。いろいろ検討していく中で決定するべきだと思います。ですので、2. ①を削除して、3-1. の中で今後議論していくべきだと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>前回までの資料で小学校の推移の資料 2-4 について、立田南部小学校、立田北部小学校、八輪小学校、開治小学校の学年ごとの人数の推移を推計していただいています、青い網掛けや単学級 18 人未満の赤字で書かれている数字の根拠がちょっと弱いかなと思います。</p> <p>議論になっているのが、1 学年 1 学級となっていますが、西川端小学校も最後の 4 年、5 年くらいは、ほぼ単学級となっているのですが、1 学級 18 人いない状態ではないですし、男女も 10 人以上いますという状態で推計が出されています。18 人というのが 1 クラス 35 人なので、36 人になったら 2 クラスになるので、18 人が一定のコミュニティだろうと議論が出たと思いますが、ちょっとその論拠が弱いという印象があります。だからこそ、立田南部小学校と立田北部小学校を 1 校にする、八輪小学校と開治小学校を 1 校にする合理性が取りにくいのかなと思います。</p> <p>現場の先生方から見て、この数字の論拠を何か教えていただける部分があれば、次回でもいいので教えていただきたいと思います。統合する理由についての論拠が弱いのかなと感じています。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>一つは、35 人学級が 1 人増えれば 36 名となり、2 クラスの 18 人ずつになる点だと思います。これが、社会集団の単位であるという定義はありません。</p> <p>ただし、これ以上少なくなると、男女のバランスが悪くなる影響が出てきます。例えば、対戦型の球技が成立しないことがあり、今小規模校では、学年をまたいで体育をしたりしています。やはり同学年で行うことが良いと思います。</p> <p>資料 2-4 ですが、すべて 35 人学級で計算しておりますし、特別支援学級も出てくると思いますので、実際には、クラス数が減る可能性があります。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>中学校を中心に、小学校については附帯的などというお話があったと思います。今回は、中学校の部分があって、2. は老朽化の視点で書かせて</p>

	<p>いただきました。3-1. は規模が少ない学校に焦点を当てて書かせていただきました。3-2. で他の学校を書かせていただいております。</p> <p>ですので、中学校の部分はそのままに、2. 3-1. 3-2. については、学校別でそれぞれの視点を列記させていただくと、少し見方が変わってくると思います。</p>
(会長)	<p>2. 3-1. 3-2. を一緒にするということですか。</p>
(事務局)	<p>そのとおりです。学校順にそれぞれの視点について列記させていただきます。</p>
(教育長)	<p>中学校は固めていただくのが最優先となります。老朽化も検討しなければいけません。さらに規模についても検討しなければいけません。方向性については、小学校についても皆さんの合意が得られれば適正化を図っていくという形が良いと思います。それを持って、当該地域小学校への対策を考えていくこととなります。</p> <p>また、委員がおっしゃっていた3ページの開治小学校の「5年前までを目途」と「令和7年度まで」の文言を削除という意見については、もし削るのであれば、急に来年から複式学級になる可能性が高いというときに検討を始めても難しいと思います。これは、残していただきたいと思います。「5年前までを目途に検討を開始する。」とありますので、条件が整っていれば、検討の必要はないということになります。</p>
(会長)	<p>立田南部小学校と立田北部小学校について選択肢のままとなっていますが、老朽化と全学年1学級となっている小学校についての対策の方向性については、このような形で基本計画の提案(案)の中には盛り込んでおくことでよろしいでしょうか。</p>
(委員)	<p>学校側としては、小学校も複式学級になるギリギリまでオッケーかという、そういうわけでないと思います。適正規模というものは、きちんとしていけないといけない。今は主体的で対話的な深い学びであるとか、専科であるとかがありますので、果たして、立田南部小学校と立田北部小学校の規模で専科教員が配置される規模かと考えたときに絶対にあり得ないと思います。</p> <p>「5年前までを目途に」という表現ですと、今でいうと令和10年度になりますし、2年後には、複式学級が見込まれているので、今の段階から検討していかないと、来年から統合となると、人事的にも配置も難しく</p>

<p>(委員)</p>	<p>なると思います。また、そんな急に学校を統合する話になると校長や教頭の数も減るわけですので、いろいろな問題が出てくると思います。こちらについても今の段階から着手していかないといけないと思います。</p> <p>保護者の立場から言わせてもらおうと十分議論がされていない中でいきなり統合した小学校を設立という話は、到底受け入れられないと思います。教員の立場も分かりますが、遠いところへ行かなければならない中で急に統合となっても賛成できないと思います。</p> <p>検討していかないといけないのは十分承知しています。ただ、統合ありきではなく、選択肢が並列していてもおかしくないと思います。書き方によっては、決めずに検討していく形で今の段階では良いと思います。検討していくわけですので、統合しないとも言っていないので、そういった書き方でどうでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>中学校をいかに早く進めていくかを重視しなければいけないので、小学校を唐突に盛り込みすぎると、地元説明会で失敗しますので、今回は、中学校を主体としてやった方が良いと思います。</p> <p>小学校はこのような課題がありますという形で合わせて皆さんにお伝えすれば良いと思います。地元合意が得られやすいようにと考えております。</p> <p>開治小学校だけについて言いますと、複式学級だけが悪いかのごとく出てきますが、複式学級は違法行為ではありませんし、パブリックコメントの結果、小規模校で良いという意見がたくさんありましたので、その意見をくみ上げれば、今すぐ小規模校を徹底的になくしていくというのは、小学校には当てはまらないと思います。</p> <p>その都度タイムリーに基本計画を策定すれば良いと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ただ、複式学級については、前回までの会議で議論していたと思います。小規模の複式学級というのは、何回か申し上げましたが、授業時間が半分しかありません。半分は自習というような形となります。さらに、いじめの問題の時に逃げ場がない等の問題について、子どもたちにとってすごくしんどい状況だと思っています。</p> <p>先生方からもお話がありましたが、主体的で対話的な深い学びが小学校で求められています。その時にグループを作れるのか、学びの共同体とも言いますが、それができるのかどうか。それができていない小学校生活を送って、中学校に進学して、きちんとやってきた小学校の子どもと一緒にあったときに不利益をこうむるのは、本人たちだと思います。</p>

委員がおっしゃった1学年1クラスの学校は、基本的に解消していくべきだと思います。また、解消しなければならない課題が老朽化とともに小学校にも迫っているということは、中学校の再編とともに地域の皆さんに考えてもらう必要があると思います。そのための資料は、十分あると思いますので、基本計画の案というものを詰めて検討していければと思います。

本日は、ここまでとさせていただきますが、今日は、中学校に関しては、基本的には確定しました。

小学校については、老朽化の観点と全学年1学級となっている学校を今後どう考えていくか。についての基本計画を今日いただいた資料をベースに、今日議論した内容をもう少し書き込みしていただき、基本計画の全体像を示していく形で次回も議論していきたいと思います。

もう一つ、今日議論できなかった、地区検討協議会への申し送り事項だと思います。今日の議論の中でも意見が出てきましたので、事務局で付加していただいて、事前にお示ししていただき、議論していきたいと思います。

(2) その他について事務局から何かありますでしょうか。

次回は、令和4年9月29日(木)愛西市役所南館1階1-3、1-4会議室で午後2時から予定しておりますのでよろしくお願いします。

それでは、本日の会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

4. 閉会